

平成23年7月27日に行われた 第2回臨時会では このようなことが決まりました

補正予算

●平成23年度八峰町一般会計補正予算(第4号)

八森地区子ども園建設候補地選定委員報償費22万4千円、猫友会補助金7万9千円、スポーツ少年団派遣関係費98万1千円、計128万4千円を追加補正しました。



補正予算の説明をする千葉教育長

たくさんの方が傍聴にきてくれました



9月14日午前中の傍聴席

今定例会では、水沢老人クラブの方々ほか計18名が傍聴に訪れました。

議会は一般に公開され個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

傍聴にあたっては、議場に設置している「議会傍聴人受付簿」に氏名・住所・年齢を記載するだけで傍聴することができます。

次回の定例会は12月です。日程等については、決まり次第「お知らせ版」に掲載します。

八峰町議会は、町民の皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お願い 団体が傍聴される場合は、事前に議会事務局(電話76-4607)にご連絡くださるようお願いいたします。

《お詫びと訂正》

7月8日に発行した議会だよりNo.21に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

訂正箇所 8ページの表題

- 誤 平成23年度決算特別委員会付帯意見…
- 正 平成23年度予算特別委員会付帯意見…

オーガニック農法 (有機農業)について



佐藤 克寛 議員

質問

J Aでは安心・安全な農作物の生産拡大を図るために、24年度から糞尿を利用した堆肥作り事業が計画されている。町では2006年に制定された有機農業推進法でいうところの責務でオーガニックのスタートに伴いJ Aや農家、消費者等と、どのようなスタンス・連携で望むのか伺う。

答弁

この事業の実施主体はJ Aであり、町としては、国や県の補助事業の斡旋や町で支援できることは実行するなどして、J Aと連携を密にしていく考えである。

有機食料の食育と学校給食への導入については、食育計画に有機食料をはじめ具体的なことは盛り込んでいないが、計画推進のため家庭、学校、地域、行政等が協力しながら検討しなければならぬと考えている。おらほの館・産直会にJ Aの堆肥を使用してもらい、オーガニックの野菜が町内で安定供給できるのであれば、安心・安

再質問

栃木県茂木町(昨年視察研修した)ではオーガニックの広がりを持たせるために国の直接助成を得るなど推進にかかる取組みを積極的にやっている。八峰町は農業で生きていかなければならない町だと思おうので、町のかかわりを積極的にお願いする。

答弁

J Aとの連携が必須で、決して有機農業に対して後向きではなく、必要なものについて

全な食料を給食に導入したいと考えている。



当町にも有機農業による作物が増えることを期待したい

【用語説明】

オーガニック(有機農業・有機栽培)：自然環境や生態系と調和した形で実践されることを目指した農業の一形態。化学物質の利用をやめ、旧来のような天然有機物や天然由来の無機物による肥料などを用いるなど、自然に逆らわない農業を目指している。農作物の収穫量よりも土の中までをも含む生態系全体の健全性に重きを置いている。



昨年視察した茂木町の堆肥工場「美土里館」の堆肥

は、頑張っ行ってきたいと思う。